



主な内容

- ② 年末年始のお休み (公共施設)
- ② 年末・年始のごみ収集カレンダー
- ④ 令和6年清瀬市消防団出初式開催に伴う交通規制のお知らせ
- ⑤ パブリックコメントを実施します



きよせ

発行：清瀬市 編集：経営政策部シティプロモーション課 〒204-8511 清瀬市中里五丁目842 ☎ 042-492-5111 (代表) FAX 042-492-2415 メール：kouhou@city.kiyose.lg.jp

第17回 市政世論調査の結果

市は、令和5年7月に第17回清瀬市政世論調査を実施しました。この調査は、市民の皆さんが持つ市に対する考えや意見、要望などを今後の市政運営に反映させ、より住みよいまちとしていくことを目的に、3年に一度実施しており、住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の1,000人の方にご協力をいただきました。第4次長期総合計画・実行計画の成果指標との連動を考慮した設問

を盛り込み、市政の各分野から30項目36問を設定し意向などを伺ったところ、512人の方からご回答をいただきました。その調査結果がまとまりましたので、概要について報告します。なお報告書は、市役所、松山・野塩出張所、各図書館、市ホームページでご覧いただけます。☎シティプロモーション課プロモーション係☎042-497-1808



◆4つの主な将来像別の分析

◆安全でうるおいのある暮らしができるまち

重点を置くべき施策は「防災体制の充実・強化」が53.1%と最も高く、次に「防犯体制の充実・強化」が47.1%となっており、共に約半数を占めました。これらに次いで「暮らしの相談体制の充実 (25.0%)」、「文化・芸術・スポーツ活動の支援 (18.8%)」などが続いています。年齢別でも、全年代において「防災体制の充実・強化」「防犯体制の充実・強化」が上位を占めました。

◆子どもたちを健やかに育むまち

重点を置くべき施策は「子育ての支援」が57.2%と最も高く、次に「市立学校の教育内容の充実」は33.0%となりました。これらに次いで「誕生から就労に至るまでの総合的な相談体制の整備 (27.3%)」、「地域連携による学校教育 (23.8%)」などが続いています。年齢別でも、全年代において「子育ての支援」が上位を占め、特に30～39歳で約7割と最も高くなっています。

◆生活実感や日頃の行動について伺いました

市が進める第4次長期総合計画・実行計画で設定する「まちづくり指標」の達成度を測るため、4つの主な将来像（「安全でうるおいのある暮らしができるまち」・「健幸でともに支え合うまち」・「子どもたちを健やかに育むまち」・「豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち」）に

◆健幸でともに支え合うまち

重点を置くべき施策は「生活の安定の確保及び自立・就労支援」が44.3%と最も高く、次に「医療体制の整備」が40.8%となりました。これらに次いで「高齢者の支援 (34.8%)」、「社会保険の安定的運営 (29.3%)」などが続いています。年齢別では、「生活の安定の確保及び自立・就労支援」は18～49歳で高く、「高齢者の支援」が70歳以上で高くなっているほか、「医療体制の整備」及び「社会保険の安定的運営」がほぼ全年代で上位を占めました。

◆豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

重点を置くべき施策は「道路ネットワークと交通環境の整備」が36.5%と最も高く、次に「適切な土地利用の推進と住環境の整備」が32.4%となりました。これらに次いで「自然環境の保全 (31.6%)」、「公園の整備 (24.6%)」などが続いています。年齢別では、「道路ネットワークと交通環境の整備」は20～59歳で約4割と高く、「自然環境の保全」は50歳以上で3割以上と高くなっています。

対する生活実感や日頃の行動について伺いました。※主な項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「はい」と回答した方の割合は、下表のとおりです。

安全でうるおいのある暮らしができるまち

| 項目 | 令和2年調査 | 令和5年調査 |
|--|--------|--------|
| 災害に備えて避難場所の確保や食料備蓄、非常用持出品の用意をしている | 50.3% | 51.8% |
| 市の歴史や伝統文化、文化財等に関心がある | 45.0% | 43.3% |
| この一年で戦争の恐ろしさや平和の大切さについて周りの人と話したり、考えたりしたことがある | 47.5% | 55.3% |
| 家事や子育て、介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う | 88.9% | 90.9% |

健幸でともに支え合うまち

| 項目 | 令和2年調査 | 令和5年調査 |
|-----------------------------|--------|--------|
| 高齢者が地域で自分らしくいきいきと暮らしていると思う | 44.9% | 42.2% |
| 住んでいる地域で、助け合いや支え合いができていると思う | 30.9% | 26.6% |
| 年に一回は健康診断や人間ドックを受けている | 78.9% | 78.9% |
| 必要な時に適切な医療を受けられるので安心だ | 66.6% | 64.5% |

子どもたちを健やかに育むまち

| 項目 | 令和2年調査 | 令和5年調査 |
|------------------------------------|--------|--------|
| 親と子どもの健康に関する情報提供や相談体制が充実していると思う | 30.7% | 33.4% |
| 育児の協力のお願いや相談ができる場所 (人) が周りにある (いる) | 31.1% | 25.6% |
| 誕生から就労に至るまでの悩みごとを相談できる体制が充実していると思う | 16.2% | 14.9% |
| 学校の行事に協力したり参加したりしたことがある | 40.3% | 38.7% |

豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

| 項目 | 令和2年調査 | 令和5年調査 |
|-------------------------------|--------|--------|
| 清瀬市の住環境は快適で自然への配慮と調和がとれていると思う | 60.0% | 62.5% |
| 交通ルールやマナーを守っている | 93.8% | 94.1% |
| 日頃からごみの量を減らすことやリサイクルに取り組んでいる | 74.9% | 74.4% |
| 市内の農業・農家を身近に感じる | 66.0% | 68.0% |